7 北方領土問題に関する機関、組織、団体等

政府

内閣府北方対策本部
［本部長：北方対策担当大臣］
- 国民世論の啓発
- 四島交流事業
- 元島民等への援護等



（独）北方領土問題対策協会

外務省（外交交渉）
文部科学省（教育）
農林水産省（漁業対策）
国土交通省（隣接地域振興）　等

連携・調整等

地元自治体

北海道北方領土対策本部

北方領土隣接地域
北方領土隣接地域振興対策根室管内市町連絡協議会（北隣協）
根室市
別海町
中標津町
標津町
羅臼町

都道府県等

都道府県・政令指定都市（北方対策主管課等）	北方領土返還要求運動都道府県民会議（47）	北方領土問題教育者会議（47）

関係団体

（公社）千島歯舞諸島居住者連盟	（公社）北方領土復帰期成同盟	北方領土返還要求運動連絡協議会（北連協）	等

＜関係団体の紹介＞

（公社）千島歯舞諸島居住者連盟
　北方領土問題の解決を促進するとともに、北方地域元居住者の福祉の増進を図るため、北方地域元居住者を会員として、署名活動や講演会等の他、北方領土の語り部活動、北方領土関連資料の収集・保存、北方領土への自由訪問などを実施しています。

（公社）北方領土復帰期成同盟
　北方領土問題についての国内世論の啓発、結集を図り、我が国の正しい主張を広く国際世論に訴えるため、道内の民間有志が結集したのが始まりです。北海道内外で各種大会や講演会などの開催、署名活動などを実施しています。

北方領土返還要求運動連絡協議会（北連協）
　昭和43年に青年、婦人、労働団体などが協議し、返還要求運動の強化と団体間の連携を図るための統一的連絡機関として41団体が加盟し、東京都に「北方領土問題連絡協議会」を組織し、「北方領土復帰促進全国大会」の開催、キャラバン隊の派遣など広範な民間運動を展開しました。昭和52年に運動の更なる拡大と発展を視野に「北方領土返還要求連絡協議会」に改組しました。北方領土返還要求運動に関する連絡、協議及び各種情報交換などのほか、北方領土返還要求全国大会の開催（実行委員会に参加）、国会請願などを行っています。

北方対策本部予算

（単位：百万円）

事項名	令和８年度予算額	令和７年度予算額	令和６年度予算額	令和５年度予算額	令和４年度予算額
北方対策本部に必要な経費	1,729	1,718 (123)	1,683	1,701	1,701
1．北方対策本部経費	262	250	203	213	202
2．独立行政法人北方領土問題対策協会経費	1,467	1,468 (123)	1,479	1,488	1,499
（1）北方地域旧漁業権者等貸付事業費補助金	161	162	136	157	156
（2）一般業務勘定運営費交付金	1,307	1,307	1,344	1,332	1,343
（3）施設整備費補助金	—	(123)	—	—	—

（注）計数において四捨五入等の関係上、合計等に不一致あり。
　　括弧内の金額は、補正予算額であり、外数。

北方領土返還のシンボル



「四島（しま）のかけ橋」

「四島（しま）のかけ橋」は、望郷の岬公園（根室市納沙布岬）に建つ北方四島返還祈念モニュメントで、北方領土返還を望む日本国民の強い意志を表すシンボルとなっています。
　モニュメントの下にある「祈りの火」は、沖縄・波照間島（はてるまじま）で自然採火されたもので、各都道府県庁を経て根室市まで運ばれ、本土復帰を果たした沖縄の、そして全国民の祈りを込めて、昭和56年９月27日、点火されました。
　「祈りの火」は、北方領土返還が叶うその日まで灯し続けられます。



「ブラウンリボンバッジ」

　北朝鮮の拉致問題のシンボルマークとして市民権を得ているブルーリボンと同じ形のバッジです。
　色は北方四島の「土地」を表すベージュがかったブラウンです。



「千島桜バッジ」

　北方領土返還要求運動の新たな展開を図るため、返還要求運動の統一的なシンボルとして、広く道内から公募されました。
　応募の中から、千島という名前が直接北方領土を連想させ、「北方領土返還要求運動のシンボルの花」として最もふさわしい花として、北方四島に分布している「千島桜」が選ばれました。